No.178
2026・11
前橋市議会発行



まえばし 市議会だより



— 主な内容 —

○第３回定例会の概要…… P.2
○会派別の質問事項…… P.3
○総括質問……P.4～10
○議案の議決結果…… P.11
○意見書…… P.12

議員親睦会主催　手話教室（上段）
まえばし手話フェスタ　手話体験（下段）

前橋市議会ホームページ
https://www.city.maebashi.gunma.jp/gikai/index.html

7年度の各会計決算を認定

一般会計歳出決算額は1532億円

第三回定例会を九月一日から二十五日まで開き、令和七年度各会計決算認定など市長提出議案四十件、意見書案九件を審議しました。その概要を紹介します。

○第1日（9月1日）

近藤登議長が令和八年第三回定例会の開会を宣告した後、会期を九月一日から二十五日までの二十五日間とすることを決め、三人の会議録署名議員を指名しました。

次に、市長提出議案「令和七年度前橋市一般会計決算認定」など三十五件の議案を上程し、小川市長から各会計決算認定議案について、所管の各部長からその他の議案についてそれぞれ説明がありました。


各会計決算を説明する小川市長

○第2日（9月8日）

上程中の議案や市政に対し、十一人の議員が総括質問を行い、市長や所管の部長などがこれに答えました。（総括質問の要旨は4ページ～10ページに掲載）

○第3日（9月9日）

前日に続き、十五人の議員が総括質問を行いました。

次に、上程中の議案のうち「各会計決算認定議案」や「前橋市保育所、保育の実施及び保育料等に関する条例の改正について」など十三件については更に詳しく審査するため、各常任委員会に付託しました。

続いて、委員会への付託を省略した二十二議案について、日本共産党市議団から議案第百十七号など四議案に対する反対討論の後、採決を行い、全て原案のとおり可決しました。（議決結果は11ページに掲載）

○第4日（9月25日）

常任委員会に付託した議案十三件について、各委員長が審査結果報告を行いました。

委員長報告の後、前橋令明、七星、無所属の会を代表して、前橋令明から議案第百二十四号に対する反対討論、前橋高志会、公明党市議団を代表して、前橋高志会から並びに、日本共産党市議団から賛成討論があり、採決を行った結果、可決しました。

続いて、日本共産党市議団から議案第百五号など十議案に対する反対討論、前橋高志会、前橋令明、公明党市議団、まえばし市民クラブ、前橋豊輪から委員会付託された議案のうち、議案第百二十四号を除く十二議案に対する賛成討論があり、採決を行った結果、全て可決及び認定しました。

次に、人事議案（件名及び氏名は11ページに掲載）五件の市長提出追加議案を上程し、採決を行った結果、いずれも同意しました。

次に、議会の意思として、市民の公益に関する意見を国会や関係行政庁に提出しようとする意見書案九件を上程し、採決の結果「防災庁発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書」など三件を可決し、第三回定例会は閉会しました。（可決した意見書の要旨は12ページに掲載）

政務活動費の情報公開

議員が行う調査研究などの活動に必要な経費の一部として、議員一人当たり月十万円の政務活動費を会派に対して交付しています。

令和七年度分の収支報告書及び領収書などの証拠書類は市庁舎二階の情報公開コーナー、市議会ホームページで公開しています。

請負状況の公表

議員の請負状況の透明性を確保するため、前橋市に対する請負実績のある議員は報告が必要です。

令和七年度の請負状況の報告はありませんでした。



◀電子採決の様子

会派別の質問事項

□前橋高志会　①第一子保育料軽減制度の見直し②第八次前橋市総合計画の策定に向けた取組③ＤＸ人材育成④まえばしこども・若者アイデアまちづくりプロジェクト⑤公共交通政策⑥次世代にも暮らしやすいまちづくり⑦清掃工場の広域化⑧産業用地の整備⑨斎場空調及び照明設備の更新⑩都市計画道路の整備⑪老人福祉センター⑫まえばしスマイルプラン⑬市民の健康、生きがいとスポーツイベント⑭教員の育成⑮前橋市の特別支援教育の現状⑯市立高等学校と市内小中学校の教員の持ち授業時数⑰管理職選考⑱小中学校の管理職の特例任用⑲群馬総社駅整備事業⑳特別支援学校運営事業㉑新前橋駅前再開発㉒道路環境の整備㉓ファシリティーマネジメント㉔前橋市イノベーション創出支援事業㉕蚕業振興推進事業㉖放置自転車対策㉗会計年度任用職員㉘前橋の農業㉙学校給食㉚学びの多様化学校㉛市街地のにぎわい㉜市ホームページのＡＩの活用

□前橋令明　①政策レビュー②災害対策③保育料④デジタル戦略⑤物価高騰対策⑥防災⑦子育て支援の充実⑧教育情報ネットワーク⑨地域の諸課題⑩コンプライアンス体制⑪危機管理体制⑫盛土、擁壁状況⑬熱中症対策⑭ＡＩ、ドローンの活用状況⑮政策レビューに伴う財政状況⑯工業団地の造成⑰まちなかの活性化⑱人口減と少子化⑲結婚支援⑳環境㉑孤独、孤立対策㉒空き地対策㉓ナイトタイムエコノミー

□公明党市議団　①浸水対策②高齢者用肺炎球菌感染症の定期予防接種③魅力ある都市景観④前橋市ＤＸ推進計画⑤健康増進の取組⑥粕川地区公共施設整備⑦土地利用制度の見直し⑧清掃施設整備

□日本共産党市議団　①高齢者世帯エアコン購入費等助成事業②災害対策の強化③補正予算と物価高騰対策④豪雨時の防災及び被害対策⑤新前橋駅周辺のまちづくり⑥災害時の避難所対策と課題⑦中心市街地再開発の見直しと新たなまちづくりにおける市長の政治姿勢⑧小中学校の統廃合問題

□まえばし市民クラブ　①粕川地区公共新複合施設②先進地におけるラーケーション③政策レビュー④本市職員の働き方、休み方改革⑤県知事要望⑥誰も取り残さない子供、子育て施策充実⑦防災⑧環境⑨前橋の農政⑩人口減少

□前橋豊輪　①子育て施策②災害に対する考え方③消防団④大雨被害による桂川橋梁崩落への対応⑤市有地の現状と課題⑥農業施策

□なないろ　①学校統廃合②学校教育③観光政策

□無所属の会　①国スポ②子育て施策③学校教育④市内施設

□暁鐘　①第一子保育料軽減制度の政策決定過程②拉致問題の啓発と次世代への継承

□無所属クラブ　①東部地域の諸課題②公民館③空き家対策

□七星　①令和七年度決算

令和７年度各会計決算

会計名		歳入	歳出
一般会計		1,599億7,103万円	1,531億8,033万円
特別会計	国民健康保険	325億8,925万円	321億169万円
	後期高齢者医療	62億1,820万円	62億406万円
	競輪	422億2,238万円	418億1,843万円
	介護保険	366億903万円	356億6,997万円
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	5,241万円	3,571万円
	新エネルギー発電事業	1億3,196万円	1億2,116万円
	用地先行取得事業	－	－
	産業立地推進事業	8億1,589万円	8億1,386万円
	合計	1,186億3,912万円	1,167億6,488万円
会計名		収入	支出
企業会計	水道事業	95億4,849万円	112億1,011万円
	下水道事業	103億7,669万円	123億4,893万円
	農業集落排水事業	18億3,704万円	20億6,670万円
	合計	217億6,222万円	256億2,574万円

※金額は１万円未満を整理しています。
※水道事業、下水道事業及び農業集落排水事業の支出は、現金支出を伴わない減価償却費等を含んでいます。

質問



前橋高志会
藤江　彰

バス路線の新設

〈問〉駒形町は、市街化区域でありながらバス空白地域となっています。ガーデン前橋まではバス路線があるので、駒形駅前通線が開通すれば駒形駅への路線延伸の可能性があると感じます。地域からも路線新設要望がありますが、見解を伺います。

〈答〉駒形地区は人口集積が進み、交通空白の解消が重要な課題と認識しています。ガーデン前橋まで運行している既存路線バスの延伸や、駒形駅や前橋大島駅への乗り入れを含めた接続強化や市町村連携などを検討し、交通空白の解消と持続可能な公共交通ネットワークの構築の両立に向け、地域や交通事業者と連携して取り組みます。

保育料軽減制度の見直し

〈問〉第一子保育料軽減制度について、保育料を半額の軽減案が、第一回定例会で議決に至りませんでした。今回の案では三歳未満の第一子を六割軽減、月額一万五千円を上限としています。議決に至らなかったことをどのように受け止め、その後、どのような検討を行い今回の制度案に至ったのか伺います。

〈答〉第一回定例会では、制度の内容や効果、財政負担などについて検討を求められました。これらの意見を踏まえ、一律半額軽減案を見直し第二子と同様の六割軽減を基本としながら、軽減額に上限を設定しました。子育て世帯への支援効果と財政負担の均衡を図り公平性と制度の持続可能性に配慮しました。



前橋高志会
富田　公隆

市街化調整区域の目指す姿

〈問〉前橋市土地利用のあり方では、土地利用制度の適正運用として、まちのまとまりの形成や、指定幹線道路の見直しなどが示されていますが、これらの施策を通じた城南地区をはじめとする市街化調整区域の目指す姿について、当局の見解を伺います。

〈答〉前橋市土地利用のあり方では、基幹的な既存集落や公共交通の利便性が比較的高いエリアを中心にまちのまとまりエリアを設定し、居住や日常生活に必要な施設の立地を誘導することで、地域コミュニティーや生活利便性を確保するとともに、地域の拠点として形成していくこととしています。将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域の実現を目指します。

新清掃工場の建設候補地

〈問〉下増田町の清掃工場予定地は、六供清掃工場の延命化工事完成後も市有施設として保有している状況です。現在、新施設の建設候補地選定が進められる中で、下増田町の新清掃工場予定地の取り扱いについて、市長の見解を伺います。

〈答〉下増田町の用地については、ハザードの関係で焼却施設の候補地に選定される可能性は低いと考えられますが、建設候補地における適地検討委員会の意見も踏まえた結果が出た後に、周辺地域のまちづくりの動向や現在の利用状況も踏まえながら、今度の活用について検討していきたいと考えています。



前橋高志会
小川　真太郎

特別支援教育の今後

〈問〉特別支援教育は、一人一人の教育的ニーズに寄り添う重要な取組です。今後支援を必要とする児童生徒を見据え、教育環境や支援体制をどのように充実させていくのか伺います。

〈答〉学校現場の日々の努力に応え、関係職員の配置や研修の実施、相談体制の整備などを通じて、特別支援学級や通級指導教室による指導の充実、関係機関との連携強化、教職員の専門性向上などに取り組みたいと思います。通常の学級においても分かりやすい授業の実施、合理的配慮の提供、特別支援学級などとの連携を通して、多様な児童生徒が可能な限り同じ場で学び合うことのできる教育環境の整備に努めたいと思います。

持ち授業時数の削減への取組

〈問〉小中学校の教員は授業時数が多く、校務と併せた負担も大きいと考えます。教員が児童生徒への指導に専念できる環境を整えるため、今後持ち授業時数の削減に向け、どのような取組を進めていくのか伺います。

〈答〉学級担任に代わって特定の教科の授業を受け持つ小学校教科指導講師、印刷や配布物の仕分けを行う校務補助員など、さまざまな非常勤職員の配置による人的支援を行っています。また、校長会とも連携し、県教育委員会へ更なる人員の確保に向けた働きかけをしています。

今後も各学校の教員の状況を把握し、教育の質が更に向上するよう努めます。



前橋高志会
林 倫史

群馬総社駅の東口整備

〈問〉群馬総社駅東口ロータリーの送迎用駐車場が拡充された一方、コインパーキングの駐車可能台数は以前と同様に二十台程度で、満車となる状況があります。簡易な鉄骨造による二階建て駐車場を整備することで駐車台数を増加させることにより、確実に安定して駐車場所を確保できるよう検討するべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉現時点で新たな駐車場整備は計画していませんが、今後予定している西口整備により、駅利用の傾向や交通の流れが変化することも想定されます。このため、西口開設後の利用状況を見極めながら、駐車場の在り方について検討していきます。

三十キロメートル規制

〈問〉生活道路における法定速度が時速三十キロメートルに引き下げられましたが、市内には実態として、生活道路であるにもかかわらず、三十キロメートル規制の対象とならない道路も多く見受けられます。そこで、今般の生活道路三十キロメートル規制に対する市の対応について伺います。



〈答〉この制度改正を受け、広報まえばしやホームページなどを通じて市民への周知に努めています。本市としては、市民から寄せられる交通安全に関する意見や要望を関係機関と共有するとともに、警察をはじめとする関係機関との連携を一層密にしながら、安心で安全な交通環境の確保に努めます。



前橋高志会
須賀 博史

公募によらない再任用

〈問〉会計年度任用職員の経験やノウハウは、市民サービスの質を維持するうえで欠かせません。生産年齢人口の減少に起因する人材確保難や業務継続の可能性が脅かされる中、優秀な人材の定着を図り、職員の入れ替わりによる後任や周囲の負担を軽減するためにも、人事評価を適切に活用した公募によらない再任用の年数制限の緩和、撤廃に向けた見解について伺います。

〈答〉現時点では年数制限の緩和などについては考えていませんが、必要に応じて制度運用の在り方について検討していきたいと考えます。

市ホームページのAI導入

〈問〉市ホームページは、市民生活に必要な情報が集約されている重要な情報発信基地ですが、情報量の膨大化に伴い、市民からは探したいページに一発でたどり着けないなどの声が根強く存在しています。従来のキーワードで探すポータル型から、AIが背景を酌み取って要点をまとめて案内するAI対話型検索への進化が不可欠ではないかと思いますが、AI検索機能の導入を進めることについての見解を伺います。

〈答〉導入費用や運用方法、回答の正確性の確保などの課題もあることから、本市に適した手法を見極める必要があります。そのため、現在は利用者が必要な情報に円滑にたどり着けるよう、AI検索機能の導入に向けた検討を進めています。



前橋令明
佐藤 祥平

災害発生時の補正予算

〈問〉政策レビューの中では、不測の事態に備えるために、五年後の財政調整基金残高五十億円程度を確保するものとの考えが示されました。大規模災害が発生し、緊急に財政出動が必要になった場合、本市では予備費や補正予算、専決処分などをどのように使い分け、迅速な対応に向けて、どのような考え方で編成しているのかを伺います。

〈答〉応急復旧や避難所運営など緊急性の高い事業は、予備費の活用や補正予算の専決処分により、速やかに対応したいと考えています。財源は、国、県の補助制度や特別交付税、災害復旧事業債などを最大限活用し、必要に応じて財政調整基金を活用したいと考えています。

保育料負担軽減の財源

〈問〉第一子保育料の負担軽減のための年間約二・八億円の財源を、今後どのように継続的、安定的に確保するのか、社会保障関連費の増加など財政状況が更に厳しくなった場合も、本制度を維持する考えなのか、その場合、どのような考え方で財源

質問

を捻出するのか見解を伺います。

〈答〉政策レビューによる事業見直しや自主財源の確保など、歳入歳出両面から財源の確保に取り組みます。財政状況が更に厳しくなった場合も、直ちに制度を見直すのではなく、歳入確保や他の事業の見直しにより、制度の安定的な維持に努めます。



前橋令明
木部 秀人

コンプライアンス体制

〈問〉本市職員のコンプライアンス確保のうえで、公益通報制度や相談窓口を設けているとのことですが、とりわけ内部通報の活用が有効であると考えます。本市の内部通報体制について、具体的な内容を伺います。

〈答〉通報窓口は、内部の窓口にとどまらず、外部の弁護士に公益通報に係る受付や相談業務を委託し、職員が相談しやすい環境整備に努めています。通報を受けた場合には、通報者の保護に配慮しながら、事実関係の調査を行い、是正措置や再発防止策を講じているほか、前橋市コンプライアンス推進委員会を開催し、調査結果や再発防止策などについて意見を求めるしくみも設けています。更に、通報者が不利益な取り扱いを受けることのないよう、適切な保護措置を講じることとしています。

災害発生時の業務継続計画

〈問〉本市の災害発生時における業務継続計画は、どのようになっているのか伺います。

〈答〉災害対応に係る応急対策業務と災害があっても停止、休止ができない通常業務を緊急時優先業務に選定し、業務ごとに着手時期や目標復旧時間を設定しています。更に、災害対策本部の運営体制や人員の確保、代替施設の確保などについても定めています。



前橋令明
水野 芳宣

屋内遊び場の充実

〈問〉猛暑や天候に左右されない屋内遊び場の重要性が高まっていますが、本市における屋内遊び場の利用実態や課題をどのように認識しているのか伺います。また、施設やサービスについて、子育て世代に確実に情報を届けるためにプッシュ型の情報発信を強化すべきと考えますが、見解を伺います。

〈答〉令和七年度の子育てひろばの子どもの利用数は、四万四千九百二十四人です。屋内遊び場に対するニーズは高く、猛暑や雨天時の子どもの居場所として重要な役割を担っていると考えています。施設によっては、老朽化への対応が必要であり、遊び機能の充実などが求められています。また、施設やサービス内容がじゅうぶんに知られていない場合もあり、プッシュ型の情報提供の充実を図り、情報発信の強化を進めていきます。

天狗岩用水遊歩道整備

〈問〉世界かんがい施設遺産に登録された天狗岩用水は、近年は草木が繁茂し、景観や安全面から対策を求める声が届いています。貴重な財産を心地よく安全に活用できるよう、今後の遊歩道整備の具体方針を伺います。

〈答〉令和八年度は遊歩道南端周辺の清掃と雑木撤去を実施しました。今後も計画的に実施し、健全管理に努めていきます。



天狗岩用水遊歩道



前橋令明
林 幸一

産業団地整備

〈問〉工業団地、産業団地整備は将来の税収、雇用、産業基盤確保のための未来への投資であると考えています。①産業団地整備の目的②どのような企業を重点的な誘致対象とするのか③産業団地整備の手法を伺います。

〈答〉①企業立地を促進し、地域経済の活性化と持続的発展を図るための重要な施策です。税収増加、雇用創出や市内企業との取引拡大などの効果が期待されます②本市産業との親和性や成長性、投資規模などを総合的に勘案し企業誘致を進めています③社会経済情勢や企業ニーズ、事業効果などを踏まえ、最適な整備手法を検討していきます。

県域での結婚支援体制

〈問〉結婚支援センターの設置を求める要望が県へ提出されました。県域での結婚支援体制の必要性について見解を伺います。

〈答〉本市が結婚支援事業を進める中で県内自治体に照会したところ、多くの自治体から、市町村単独では広域的な出会いの機会の創出や相談体制の充実に限界があると回答がありました。

本市でも、市単独では参加者の確保や対象範囲の拡大に限界があるという課題を認識していて、市町村の枠を超えた広域的かつ継続的な支援体制が必要であると考え、県に対し結婚支援センターの設置を要望したものです。



前橋令明
市村 均光

高齢者の見守り

〈問〉年齢や要介護認定だけでなく、健康状態や身近に頼れる人の有無など、個々の生活状況や孤立リスクに応じて緊急通報などの高齢者の見守り支援につなげていくことについて、当局の考えを伺います。

〈答〉独り暮らしの高齢者が増加する中で、退院後の状態や健康状態、家族支援、社会的孤立の程度などを踏まえ、支援の必要性を判断する視点は重要です。本市では要介護認定を受けていない場合でも、持病や心身の状況などにより支援が必要と認められる事業対象者も緊急通報システムを利用できるしくみで、令和七年度からは課税世帯の人にも対象範囲を拡大しました。

管理不全空き地への対応状況

〈問〉前橋市空き地の環境管理に関する条例では、空き地は市街化区域内で人が生活のために直接使用していない土地と定義しています。適正な管理がされず、雑草の繁茂やごみの散乱などにより近隣の生活環境に影響を及ぼしている管理不全空き地が見受けられますが、本市の空き地への対応状況を伺います。

〈答〉近隣住民から連絡などがあった際には職員が現地を確認し、周辺の生活環境に影響を及ぼしている場合は、土地所有者などへ、口頭や書面で適正に管理するよう指導を行っています。



公明党市議団
石塚 武

雨水管理総合計画の策定目的

〈問〉近年は想定を超える豪雨が発生し、従来の整備手法だけでは浸水被害を防ぐことが難しくなっています。こうした中、前橋市では現在、雨水管理総合計画を策定しています。本計画は今後の浸水対策を進めるうえでの重要な指針になると考えますが、雨水管理総合計画を策定する目的について伺います。

〈答〉近年の気候変動を踏まえ、本市における浸水対策の計画的かつ効果的な推進を目的として策定するものです。これまでの浸水実績に加え、浸水シミュレーションの結果を活用し、市内の浸水リスクを客観的に評価しています。また、効果的に浸水被害を軽減するため、浸水危険度や地域の重要性などを総合的に評価し、対策を優先的に進める区域や目標とする整備水準を設定することとしています。

計画の検討段階と今後

〈問〉雨水管理総合計画の策定状況について、本市では浸水シミュレーションなどを基に区域設定を進めているとのことですが、現在どの段階まで検討が進み、今後どのような整備の検討を行っていくのか伺います。

〈答〉市内の浸水のおそれが高い区域や被害の程度を把握し、重点的に対策する区域の設定を進めているところです。今後は、設定した区域ごとに浸水の原因や被害の程度を分析し、雨水管渠の増強や排水施設の整備などのハード対策の必要性や整備効果を検証していきます。



公明党市議団
高橋 照代

受動喫煙防止の取組

〈問〉受動喫煙防止の取組は健康だけではなく、まちの景観や魅力度にも影響します。前橋国際芸術祭が始まり、来街者の増加が見込まれる中、本市が管理する前橋駅南口の喫煙所や街なかの中央イベント広場において、受動喫煙防止施設の設置を先行して行うことが必要と考えますが、当局の見解を伺います。

〈答〉前橋駅南口の喫煙場所は、利用者の利便性向上と受動喫煙防止の両立を図るモデルケースとして、パーティション型喫煙所の設置に向け、場所などの検討を進めています。また、中央イベント広場の喫煙場所についても同様の調整を進めています。

粕川地区の公共施設整備

〈問〉粕川地区の公共施設整備について、既存の敷地での建て替えにこだわらず、地域住民が集いやすい場所や公共交通での往来ができる場所への整備、また、供用開始の可能な限りの前倒しをといった声があります。これに応えるためには、合意形成を加速させる必要がありますが、今後の進め方について当局



前橋駅南口と中央イベント広場の喫煙所

質問

の見解を伺います。

〈答〉施設の役割などを早急に整理し、市全体の公共施設配置の考え方も踏まえて検討を進め、地域との意見交換などで相互理解の迅速化を図ります。新たな施設に求められる機能や規模、候補地、既存施設の取り扱いなどを具体化した案を地域に示し、令和八年度内をめどに基本構想として取りまとめていきます。



日本共産党市議団
小林 久子

高齢者世帯エアコン購入費助成

〈問〉高齢者世帯へのエアコン購入費の助成は、令和二年度は十分の九、上限十万円でしたが、令和七年九月の補正予算では、助成率は十分の七、補助額も上限七万円に引き下げました。非課税世帯には自己負担が増え、申請を諦める世帯もあったのではないでしょうか。補助率や助成額を拡充し、申請期間も長く取り、必要な人にしっかり届くように事業を拡充すべきだと思いますが、見解を伺います。

〈答〉令和七年度は買い換えも対象とし、今回の補正予算では助成対象経費の上限を十万円から十二万円へ拡大しました。また、限られた予算の中でより多くの人に支援を行う観点から、補助率は七割としています。



日本共産党市議団
吉原 大輔

道の駅まえばし赤城の水害対策

〈問〉道の駅まえばし赤城は防災拠点として位置づけられながら、河川の氾濫などにより浸水する可能性があり、水害時の避難が必要な区域です。これは大きな問題ですが、①浸水被害の想定②垂直避難できる場所の確保や訓練について伺います。

〈答〉①一メートル程度の浸水を見込んだ対策を講じ、発電や給水設備などをかさ上げしているほか、浸透槽を設置し、雨水の流出抑制を図るなど、水害リスクの軽減に配慮しています②水害時の避難場所は、施設上層階を活用した垂直避難を想定しています。避難経路の安全確保が困難な場合には、フードコート二階などへの移動を想定した訓練も検討していきます。



日本共産党市議団
吉田 直弘

学校避難所の空調対策

〈問〉令和八年七月二十八日に発生した熊本地震では、熱中症対策が大きな課題となりました。本市では、令和七年度までに中学校十九校のエアコン設置を完了しましたが、被災地では停電により避難所のエアコンが使えなくなる事態が発生したと聞いています。①電源喪失への対策②小学校へのエアコン設置完了時期の前倒しについて伺います。

〈答〉①中学校体育館のうち、震災や豪雨災害問わず避難所として開設する十二校には停電時対応型の空調設備を整備しています②国においても体育館空調整備前倒しの方針を出しているため、小中学校の施設整備計画全体のバランスを考慮しつつ、前倒しを検討したいと思います。



学校避難所の空調対策



日本共産党市議団
近藤 好枝

学校の適正配置と役割

〈問〉本市は少子化の加速に伴い、小学校十校、中学校三校を対象に適正規模、適正配置を検討するとしていますが、学校は自然災害や地震などの避難所としても重要な施設です。①学校と地域が協力してすばらしい教育ができる小規模校にデメリットはないと考えますが、当局の見解②学校の役割についての当局の認識を伺います。

〈答〉①小規模校はきめ細かな指導が行いやすいなどのよさがある反面、多様な考え方に触れる機会が少なくなりやすいなどの課題もあります②学校は地域と共に子どもを育む教育施設であると同時に、地域コミュニティーの核や防災拠点の役割も有していると認識しています。



まえばし市民クラブ
角田 修一

粕川地区公共新複合施設

〈問〉粕川公民館大ホールは定員三百名の施設ですが、老朽化により使用できなくなっています。地域からは、複合化に向けて同様の定員が確保できる大ホールの建設を要望しています。①多目的ホールの規模②粕川地区公共新複合施設の早期供用開始について、見解を伺います。

〈答〉①将来人口や財政負担、他の地区の公民館施設とのバランスなどを踏まえ、将来にわたり持続可能な規模とする必要が


粕川公民館

あります。地域活動や発表の場として必要な機能の確保を基本として、汎用性の高さなども考慮し、規模を検討します②今後基本構想を取りまとめますが、地域の皆さんの期待に応えられるよう取り組んでいきます。



まえばし市民クラブ
三森 和也

子どもの心の健康づくり

〈問〉思春期外来は、思春期の子どもに対するメンタルヘルスを専門に行う専門医療です。不登校や学校不適応、ひきこもりなどを広く対応する外来に来る子どもが増えていますが、子どもが心の問題を抱えた際の心の健康づくりへの取組を伺います。

〈答〉令和八年度から児童思春期を専門とする精神科の嘱託医による相談を行い、家族や関係者の対応方法などを相談する場として活用されています。また、心の健康相談は、さまざまな年代の相談に対応しています。子どもの心の健康づくりについて本市が実施する相談事業を幅広く周知するとともに、市全体で連携を図り、市民に寄り添った対応を行いたいと考えています。



まえばし市民クラブ
大澤 智之

LED照明化の取組と課題

〈問〉二〇二七年末には蛍光灯の製造と輸出入が原則終了とされていて、市有施設のLED照明化は急務と考えます。本市としてどのようなスケジュールで取り組んでいくのか、また、取組に向けてどのような課題があるのか伺います。

〈答〉本市では、学校施設については令和十三年度まで、市営住宅については令和十八年度までの計画で、国の交付金などを活用しながら進めていて、市庁舎などの大規模な施設はESCO事業を活用し、LED照明化を進めています。課題としては、現在LED製品が全国的に品薄であり、工事完成までの期間が若干長くなってしまうという点があります。





前橋豊輪
間仁田 諭

今後の保育料負担軽減施策

〈問〉今回の第一子保育料軽減制度は、保育料負担軽減に向けた一歩であると受け止めていて、保育料無償化を視野に入れながら、更なる負担軽減策についても検討していく必要があると考えます。今後の保育料負担軽減施策についての見解を伺います。

〈答〉多額の財源を要することから、財政状況や事業の優先順位もじゅうぶんに踏まえる必要がありますが、今回の制度を出発点として子育て世帯の更なる負担軽減に向け、さまざまな観点から検討したいと考えます。

ポンプ操法の必要性

〈問〉実際の災害現場で役立つ訓練として、今後ポンプ操法をどのように位置づけていくのか、その必要性について当局の見解を伺います。


安全、確実な消火活動

〈答〉ポンプ操法は単なる競技ではなく、最小限の資器材による基本的動作を身につける活動で、安全、確実な消火活動に必要なものです。また、消防団活動に欠かせない信頼関係の構築や団結力向上を担い、連携を図る消防署隊にも非常に有益で、必要不可欠だと認識しています。



前橋豊輪
山田 秀明

桂川橋梁の復旧

〈問〉東大室地区で発生した局地的な大雨の影響で、桂川橋が崩落しました。地域の皆さんにとっては、生活用道路としても日々活用されているとてもたいせつな橋です。そこで、今後の橋梁の復旧について伺います。

〈答〉現在、国の災害復旧事業補助金の活用を図るため、災害査定の事務手続きを群馬県と連携しながら進めています。今後は、地域の皆さんへの影響が最小限となるようじゅうぶん考慮し、早期復旧に向けて取り組んでいきます。

低未利用地の解消に向けた取組

〈問〉財源確保の観点から、活用ができていない資産、財産の整理が必要不可欠だと考えます。低未利用地の解消と資産の有効

総括質問

活用に向けて、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

〈答〉今後は売却だけでなく、貸し付けによる活用や民間事業者から活用提案を募集する民間提案制度など、先進自治体の事例も参考にしながら新たな手法について調査研究を進め、資産の有効活用と管理負担の軽減につなげていきたいと考えます。



なないろ
入澤 繭子

英語を実践的に使う取組

〈問〉児童生徒が英語で自由に会話できるようになるためには、英語を実践的に使う機会が必要だと考えます。多様な文化に接し、多様な人とコミュニケーションを取れる力を持つことは、子どもたちが未来を生きるうえで重要だと考えますが、①学校での取組②市内全中学生を対象とした取組について伺います。

〈答〉①希望する中学校が台湾の中学校と英語で互いの文化や生活を紹介したりする交流を行っていて、令和八年度は明桜中学校で実施予定です②希望した中学生が参加できる国際理解連続講座を実施し、教授などの講義や外国ルーツの人との交流などを通して生徒の国際的な視野を広げる取組をしています。



無所属の会
宮崎 裕紀子

学校の始業日の給食提供

〈問〉令和七年度から二学期及び三学期の始業日に給食が提供されなくなり、保護者からはなぜ給食をなくしたのか疑問の声が上がっています。給食無償化と同時期の削減で、市の財政負担軽減が目的ではないかとの見方もありますが、①始業日二日分の給食提供費用と見直し理由②再開の考えについて伺います。

〈答〉①二学期及び三学期の始業日に給食を提供した場合、年間で約千四百六十万円必要です。長期休業明けの児童生徒が学校中心の生活に円滑に移行するための時間の確保や、学校運営全体を踏まえ見直したものです②長期休業明けの児童生徒への配慮などを踏まえ、現時点では今の運用を継続したいと考えます。



暁鐘
岸川 知己

第一子保育料軽減と他案比較

〈問〉議会で否決されて制度を見直したならば、第一子軽減ありきではなく、他の政策案と費用や対象者、公平性、効果などの観点を比較して政策を選択する必要があることは言うまでもありません。他の選択肢をどう評価し、そのうえでなぜ第一子への支援拡大を選択し、改めて議案として提出したのか、市長にその理由を伺います。

〈答〉第二子の保育料は六割軽減をしている一方、第一子は毎月五万円近い負担があり、二人目の壁の突破には一人目の負担から減らすことが重要だと考えます。また、第二子より第一子への支援拡充のほうがより多くの世帯に支援効果を届けることができると考えたものです。



無所属クラブ
阿久澤 萌

大雨被害への補正予算活用

〈問〉一般会計に市単独農業土木事業費が補正予算に計上され、令和八年七月十七日の大雨による農地や農業用施設への被害の今後の復旧を進めるための重要な予算と認識しています。今回の補正予算をどのように活用し、復旧を進めていくのか伺います。

〈答〉これまでも緊急的な復旧工事を実施しましたが、稲作が行われている水田周辺は作付け中で、本格的に工事を実施できない箇所があります。そのため、農閑期に合わせて順次工事を実施する予定であり、補正予算で計上した市単独農業土木事業費を活用し、復旧工事を進めていきます。引き続き被害状況の把握に努め、地域営農に支障が生じないよう早期復旧に努めます。



七星
中林 章

防犯灯新設要望への対応

〈問〉防犯灯新設・管理運営事業の決算額について、八百五十万円もの残額は大きすぎるのではないでしょうか。防犯灯の新設要望がある中、市民要望に応えているとはとても言えないと思いますが、翌年に繰り越してでも新設できるよう制度や従来の考え方を変え、市民に寄り添う対応ができないか伺います。

〈答〉防犯灯の設置要望と将来にわたる維持管理費確保との両立を図る観点から、通学路などを中心とした適正配置に取り組んでいきます。併せて、設置環境の変化などにより必要性が低下した箇所については、移設や集約も視野に入れながら、限られた財源の有効活用と持続可能な維持管理に努めていきます。

議　案　の　議　決　結　果

第３回定例会に提出された議案の議決結果は次のとおりです。

●全会一致で可決等された議案

議案	件　　名	議決結果
第110号	令和７年度前橋市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計決算認定について	認定
第111号	令和７年度前橋市新エネルギー発電事業特別会計決算認定について	認定
第118号	令和８年度前橋市介護保険特別会計補正予算	可決
第119号	令和８年度前橋市水道事業会計補正予算	可決
第120号	令和８年度前橋市農業集落排水事業会計補正予算	可決
第121号	前橋市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の改正について	可決
第122号	前橋市国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催基金条例の制定について	可決
第123号	前橋市スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の改正について	可決
第126号	前橋市福祉医療費の支給に関する条例の改正について	可決
第128号	前橋市自転車等の放置の防止に関する条例の改正について	可決
第129号	工事請負契約の締結について（グリーンドーム前橋可動席改修工事）	可決
第130号	工事請負契約の締結について（ドームパーキングⅡ解体工事）	可決
第131号	工事請負契約の締結について（南部大橋耐震補強工事）	可決
第132号	工事請負契約の締結について（道路改良工事）	可決
第133号	工事請負契約締結の議決事項の変更について（前橋工科大学２号館・図書館改築建築工事）	可決
第134号	物品の購入について（水槽付消防ポンプ自動車）	可決
第135号	物品の購入について（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）	可決
第136号	物品の購入について（トレイ洗浄機）	可決
第137号	物品の購入について（書架）	可決
第138号	伐採作業中の事故に係る損害賠償の額を決定することについて	可決
第139号	公平委員会の委員の選任について〈千原 好子 氏〉	同意
第140号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈吉田 幸男 氏〉	同意
第141号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈宮﨑 徹 氏〉	同意
第142号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈岩崎 晴美 氏〉	同意
第143号	人権擁護委員の候補者の推薦について〈山本 武文 氏〉	同意

●賛否が分かれた議案・報告

議案	件　　名	議決結果
第105号	令和７年度前橋市一般会計決算認定について	認定
第106号	令和７年度前橋市国民健康保険特別会計決算認定について	認定
第107号	令和７年度前橋市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定
第108号	令和７年度前橋市競輪特別会計決算認定について	認定
第109号	令和７年度前橋市介護保険特別会計決算認定について	認定
第112号	令和７年度前橋市用地先行取得事業特別会計決算認定について	認定
第113号	令和７年度前橋市産業立地推進事業特別会計決算認定について	認定
第114号	令和７年度前橋市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定
第115号	令和７年度前橋市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決及び認定
第116号	令和７年度前橋市農業集落排水事業会計決算認定について	認定
第117号	令和８年度前橋市一般会計補正予算	可決
第124号	前橋市保育所、保育の実施及び保育料等に関する条例の改正について	可決
第125号	前橋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び前橋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正について	可決
第127号	前橋市営駐車場条例の改正について	可決
報告	**件　　名**	**議決結果**
第５号	訴えの提起（学校給食費の支払請求）の専決処分について	承認

賛　否　の　一　覧

（○賛成、●反対）

会派名 / 議員名 / 議案・報告番号	前橋高志会										前橋令明									共産党				公明党				市民クラブ			前橋豊輪		七	な	会	暁	ク
	小曽根英明	藤江彰	富田公隆	新井美加	窪田出	須賀博史	近藤登	林倫史	小川真太郎	関俊夫	小渕一明	堤波志芽	横山勝彦	林幸一	市村均光	佐藤祥平	木部秀人	下田一成	水野芳宣	近藤好枝	小林久子	吉田直弘	吉原大輔	中里武	高橋照代	石塚武	明野康剛	角田修一	三森和也	大澤智之	山田秀明	間仁田諭	吉田博昭	中林章	入澤繭子	宮崎裕紀子	岸川知己	阿久澤萌
議案 第105号、第106号、第107号、第108号、第109号、第112号、第113号、第114号、第115号、第116号、第117号	○	○	○	—	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第117号、第125号、第127号	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第124号	○	○	○	—	○	○	/	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○
報告第5号	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

＊議長は議決に加わらないため「／」で、欠席議員は「—」で表示しています。

＊会派名：共産党（日本共産党前橋市議会議員団）、公明党（公明党前橋市議会議員団）、市民クラブ（まえばし市民クラブ）、七（七星）、な（なないろ）、会（無所属の会）、暁（暁鐘）、ク（無所属クラブ）

意見書

第三回定例会では、意見書案三件を可決し、国会などに提出しました。要旨は次のとおりです。

○「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書

平時の備えから発災時の対応、復旧・復興までを一貫して担う司令塔組織として「防災庁」の発足が目前に迫っている。

今後想定される巨大地震や気象災害のリスクに対し、新たに発足する「防災庁」が現場のニーズに即した司令塔機能を最大限に発揮し、災害関連死や二次災害を防ぎ、国民の命と暮らしを守り抜くためには、国と地方自治体との連携強化及び支援体制の抜本的刷新が不可欠である。

よって、国においては、防災庁の発足を機に、最新の災害教訓を踏まえた実効性のある以下の措置を速やかに講じるよう強く求める。

①猛暑期の避難生活における衛生環境の改善とトイレ対策②災害関連死を防ぐための医療・福祉チームの早期・広域派遣③被災自治体への総合調整人材の派遣と受援体制の強化④二次災害防止に向けた監視・警戒体制の徹底

○被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書

現行の被災者生活再建支援制度は、被災者の生活の再建を支援し、住民の生活の安定と被災地の速やかな復興を目的として、自然災害の被災者が最大で三百万円の「被災者生活再建支援金」を受給できる制度である。

二〇〇七年に行われた法改正時には、衆参両院の災害対策特別委員会において、支援限度額、国の補助割合を含め、制度の見直しなどの総合的な検討を加える旨の附帯決議がなされているが、約二十年間金額は据え置かれたままである。

昨今の物価の上昇や人件費の値上がり等を踏まえ、最低限の生活再建を保障し、支援金制度の拡充を行うことは必要不可欠である。

よって、国においては、被災者生活再建支援制度の拡充及び支給を速やかに行うよう強く要望する。

○成年後見制度における被害の状況把握並びに不正の防止策を求める意見書

成年後見制度は、家庭裁判所が選んだ後見人らが、認知症で判断能力が不十分な人らの財産管理などを支援する仕組みである。

民法等改正法は、成年後見制度について、後見及び保佐の制度を廃止して補助の制度に一元化して本人にとって必要な範囲でその利用を可能とすることに改正された。

しかし、ここ十年ほど、後見人らによる財産の着服などが毎年約二百件も確認され、被害額は年七億円前後に上っている。また、被害を認識できていない高齢者もいると見られ、実際の被害はさらに増える可能性がある。

不正の多くは、後見人を務める親族が身内の財産を使い込んだケースだが、弁護士や司法書士などの専門職による不正も、二〇二五年は二十六件が確認され、被害は計一億六千万円に上っている。

高齢化社会の進展により制度の重要性は高まっている。今後、利用者は増えると見られ不正の防止策を早急に講じる必要がある。

よって、国においては、成年後見制度における被害の状況把握並びに不正の防止策を速やかに講じるよう強く要望する。

手話言語条例十周年 市議会の取組

手話言語条例制定十周年を記念し、市議会では議員が手話を学び、定例会などでの手話による自己紹介や、「まえばし手話フェスタ」での手話による議長挨拶を行いました。



議会日誌

八月から九月までに開催した主な会議は次のとおりです。（）内は開催回数です。

本会議(4)、総務常任委員会(3)、教育福祉常任委員会(3)、市民経済常任委員会(3)、建設水道常任委員会(3)、議会運営委員会(5)、各派代表者会議(2)、正副常任委員長会議(1)

次回定例会日程（予定）のお知らせ

11月26日(木)	本会議（初日）
12月 3 日(木)	本会議（総括質問）
12月 4 日(金)	
12月 7 日(月)	
12月15日(火)	本会議（最終日）

（日程は変更になる場合があります。）

本会議の傍聴は議会庁舎７階の傍聴受付で受け付けます。

会議の模様は、インターネット中継でもご覧いただけます。

←インターネット中継
https://maebashi-gikai.gijiroku.com

♪最終日（12月15日）に12時30分より、議場にて前橋市立桃井小学校の児童による議場コンサートを開催します。ぜひ、ご来場ください。

〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1
直通☎898-5923 FAX243-3520